

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	児童館事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	04	02	01
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	石井 由美子				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	児童館・児童センターの利用者	意図	児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康増進や情操を豊かにすることを目的に事業を行うに当たり、円滑な運営を確保する
事業内容	児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えるために、市内7か所に設置された児童館・児童センターの円滑な事業運営を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	児童館は児童への健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として設置されてきたが、近年は地域の子育て支援に拠点として役割を担うため、幼児向け事業も実施している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	年間延べ利用者数		131,591	126,762	134,681	人	
指標で表すことができない定性的な成果	地域の子育て支援の拠点として役割を担っている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		94,970,783	94,254,535	89,375,191			
事業費(b)(円)		18,581,783	19,202,535	19,409,491			
うち一般財源		18,581,783	19,202,535	19,409,491			
職員給与費(c)(円)		76,389,000	75,052,000	69,965,700			
人役・職員(人)		7.00	7.00	6.00			
人役・再任用(人)		1.00	1.00	2.00			
人役・臨職(人)		19.00	19.00	19.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	予算の執行に当たっては、最小の経費・最大の効果を念頭に、事務事業の改善に取り組んでいきたい。	取り組みの課題	効果的、効率的な事務執行の確保と事業運営時の安全管理
今年度(H26)に実施した取り組み	思井児童センターの指定管理導入に向けて準備した。コスト意識を念頭に、節電・節水に努めた。	今後の改善計画	児童館・児童センターの適正な事業運営を確保し、もって児童の健全育成に資する。平成27年度から思井児童センターを指定管理へ移行する。